



先輩職員インタビュー

「農村整備のコンダクター」

所属 会津農林事務所 農村整備部 農村整備課

● これまでの経歴(所属年度)

H28~R 1	相双農林事務所 農村整備第二課	農村整備部
R 2	会津農林事務所 農地計画課	農村整備部
R 3~	会津農林事務所 農村整備課	農村整備部



農業土木

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 農業土木の仕事は、農家の方が安心して営農できる基盤づくりに向けた調査計画から始まり、設計・工事やその後の維持管理等多岐に渡ります。私は現在、老朽化により維持管理が難しくなっている水路や水門など農業用施設の補修・更新に係る工事監督を担当しています。

どの現場でも、難しい協議・調整事項や施工が困難な現場条件などの課題に直面しますが、それらをクリアするために日々試行錯誤を重ねながら業務に取り組んでいます。課題が解決し、現場が完成したときには大きな達成感や、やりがいを感じます。



↑パイプライン工事の埋設高さを確認している様子。



Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. これから様々な仕事に携わっていく中で、多くの方と関わり、ときには頼らせていただくこともあると思います。事業を進めるためには地元農家の方、工事の施工業者の方、関係市町村の方との連携が必要不可欠です。その中で得た人脈や経験を大事にし、いずれは自分も県民の方々の力になることを目標としています。



↑ 水門工事の施工状況について現場代理人と確認している様子

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「健康第一」「会津激辛グルメ」

Q. 「健康第一」について教えてください。

A. 日々の仕事を元気にこなすためには健康が1番大事だと思っています。そのためにスポーツジムや自宅でヨガや筋トレを行っているほか、色々な健康法を試しています。少しずつでも体に変化が現れてくるのがとても嬉しいです。

Q. 受験者に向けたメッセージをお願いします。

A. 近年の度重なる自然災害からの復旧業務等、農業土木職員は福島県を守るために無くてはならない存在です。ここ数年で若い女性職員の数も増え、男女関係なく福島県の復旧復興の最前線で活躍していける仕事です。皆さんと一緒に楽しく仕事ができることを心待ちにしています。